

Cognovo 社のソフトウェアモデムベースバンドチップがサムスン社のファウンドリー、45nm 低電力プロセスにて製造開始されました。

英国 ケンブリッジ発、2011年 x月x日

ソフトウェアモデムを開発している **Cognovo** 社はこの度、新製品をサムスン半導体社のファウンドリー、低電力45nm プロセスにて製造を開始したと発表しました。

Cognovo 社の最新 Modem Computer Engine IP Core に基づくこのデバイス、MCE160 を用いることにより、開発者は WiFi, 2G, 3G, HSPA+, LTE 及び LTE-Advanced を含むすべての携帯電話や無線標準技術に対応したソフトモデムの開発が可能になります。

サンプルはこの秋にリードカスタマーに対して供給されます。

2009年 ARM 社から分離独立した **Cognovo** 社の Vector Signal Processor 技術 (VSP) に基づいて開発されたこの合成可能な MCE160 Core は 250 GOp/s (Giga Bit per second) の処理能力を持っております。この度達成された性能は、LTE-Advanced を含む多種の無線標準技術に対応した UE (User Equipment) modem をソフトウェアにおいて開発することを可能にしました。さらに、携帯基地局などの別の用途に使用することもできるようになりました。

このベースバンドデバイスを搭載した開発用プラットフォームも供給される予定で、それは **Cognovo** 社のソフトモデム開発環境によってサポートされます。高性能ハードウェアとフルシステムソフトウェア開発環境の合体は、**Cognovo** ユーザーが、ソフトモデムの開発とシリコンの製造を同時進行で行うことを可能に致します。

Cognovo 社の Software Defined Modem Development Kit (SDM-SDK) は、最適化されたコンパイラー、コードプロファイラー及びリアルタイムマルチプロセッサデザインとモデリング環境から構成され、これを使うことによりユーザーは従来のハードウェア中心の設計から **Cognovo** 社の柔軟な設計プラットフォームへ容易に移行することができます。

このプラットフォームは現在と将来の標準無線技術をサポートする能力を持っているため、モデム技術の進化にソフトウェアでいち早く対応することができます。

ARM 社のマーケティング担当上席副社長 Ian Drew 氏は次のようにコメントしています。「業界は長年信頼しうるソフトモデムへのアプローチを待ち望んでおりましたが、**Cognovo** 社はこの度、低電力の最適化された無線技術アーキテクチャを用いる事により従来とは一線を画す手法を開発しました。ARM Coretex プロセッサと物理 IP を含むマルチコアシステムを通し

て、この手法を用い、加えて設計に焦点を当てたツールを使うことでモデリングとバリデーションを行い、サムスン半導体社の最新プロセスで製造されるチップは素晴らしい技術の実証の場となるでしょう。」

Cognovo 社の CEO、Gordon Aspin 氏は次のように述べています。「ソフトウェアモデムは、シリコンの開発とは切り離して、モデムアプリケーションソフトウェアの開発と検証を迅速に行うことを可能にします。弊社のユーザーとそのお客様はより早く、確実に市場に商品をお届けることができます。」

更に Aspin 氏はこう付け加えています。「既に 3G LTE 市場において弊社の MCE 120 を用いて開発を進めているお客様が何社かございます。しかし、MCE 160 を搭載した開発プラットフォームと SDM ソフトウェア開発キットをお使い頂くことで、来年早期にそういうお客様には LTE-A の最初の試作モデムを御作り頂く事ができるようになります。」

Cognovo 社の SDM プラットホームは次のような構成になっております。

Modem Computer Engine 即ち様々な構成でライセンス可能なプロセッササブシステム、革新的な SDM オペレーティングシステム、そして十分に集積された SDM 開発環境です。

従来のハードウェアに基づくモデム設計とは対照的に、Cognovo 社のプログラマブルアプローチは OEM メーカー様やプラットフォームベンダー様の次世代マルチモード製品の開発期間を最大 12 か月短縮することができます。加えて、端末メーカー様には、その設計の最終変更を、業界の標準仕様や顧客要求仕様決定のぎりぎりまでできるという利点もございます。

Cognovo について

Cognovo のソフトウェア モデムプラットフォームを使うことにより、HSPA+, LTE, LTE-A, WiFi, WiGig, DVB, DMB などの無線、放送用のフレキシブルマルチモードの機種を開発することができます。

このプラットフォームはシリコンエリアにマルチモードの製品をもたらし、現行のハードウェアデザインよりも低い消費電力を実現し、開発期間を短縮させます。

Cognovo ではこれをインテリジェントワイヤレスと呼んでいます。

Cognovo 社の SDM プラットフォームは Modem Computer Engine (MCE) というライセンス可能な プロセッササブシステムを包含しています。これは革新的な SDM オペ

レーティングシステムとソフトモデム開発キットにより構成されています。

お問い合わせは：

Charles Sturman / Richard Fry, Cognovo

Tel: +44 1763 262477

e-mail: Charles.sturman@cognovo.com Richard.fry@cognovo.com